

「これぞ小谷流！」 おた

遊休農地解消活動

小谷村は、姫川沿いに JR と国道 148 号線が並走し姫川に注ぐ支流河川沿いに集落が散在すし、急傾斜に小規模な水田が点在する山間地帯です。約 100ha の農地のうち約 40ha がそば畑です。年間 15~20 トンのそばが収穫され、ほとんど村内のそば店で消費されています。

各集落営農組合が遊休荒廃農地を復旧して平成 23 年度までに約 10ha のそばが作付けられています。



特産品開発室&そば打ち人養成塾

小谷村は人口減少率が国勢調査（H22/17）で全国 10 番目に入る状況となり、田畑や山林も荒廃化が心配される状況のなかで、村に住みたい、働きたいという村民や地域全体を盛り上げるべく、既存の概念にとらわれない特産品づくりに向けて、企画、生産支援、マーケティングに至るまで、専門・戦略的に推進する新たな組織として役場内に特産品推進室が新設されました。

そばの振興もその一つとし、遊休農地の解消の推進と村内消費の拡大にを一層図るべく、そば打ち名人としても有名な村長が指南役となり平成 23 年度は 3 回のそば打ち道場が開催されました。

平成 24 年度からは特産品推進室が村に伝わる伝統、伝承の技を後生に伝え、広げていくことを目的に、「小谷流传承人」設定プロジェクトの第 1 弾として、「そば打ち人養成塾」が始まっています。



北アルプス山麓地域の農畜産物並びにその加工品・調理品等の中から特に優れた物を認定し、情報発信することにより、地域産業の振興及び活性化を推進している「北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会（事務局地方事務所農政課）」は、平成 23 年度新たなブランド認定品として、石臼で丁寧にかかれ、香りの強いそば粉、「信州小谷そば」（小谷村そば生産組合）を認定しました。



【報告：北安曇地方事務所農政課】